

様式1 仕様書対応可否等

以下の事項を、別紙2 要求仕様書の各項目について記載をお願いします。

対応可否	対応可の場合 →前提条件 対応不可の場合→その理由	提案する方式	仕様を変更して対応可能な場合 の変更案	見積り額に 含む・含まない	見積り額に含まない 場合の理由	金額（単位：円・税抜き）	記述回答・備考

中項目ごとにまとめて回答いただいても構いませんが、下位の項目で回答が異なる場合は、その旨が分かるよう記載してください。

【対応可否について】

以下の記号で回答ください。

- A：標準機能で対応可能
- B：オプションにて対応可能
- C：カスタマイズで対応可能
- D：代替案で対応可能
- E：対応不可、機能なし

※B、C、Dの場合、かかる費用を「金額」欄に記載ください。

※Dの場合、具体的な実現方法を「記述回答・備考」欄に記載ください。

その他、「記述回答・備考欄」には適時、補足やご意見を記載ください。

《記載例》

対応可否	対応可の場合 →前提条件 対応不可の場合→その理由	提案する方式	仕様を変更して対応可能な場合 の変更案	見積り額に 含む・含まない	見積り額に含まない 場合の理由	金額（単位：円・税抜き）	記述回答・備考
A	連携先のシステムが〇〇社製アプリケーションに限る	パッケージの機能による		含む			
E	パッケージにない機能のため	—	～～画面経由で操作することにより同等の運用を行う	含まない	現時点では仕様に不明点があり費用積算が難しいため。		